

<校訓>

高志共生

大庄中通信

大庄中学校
H24年度第2号
(H24. 4. 18・水)



新学習指導要領での授業開始

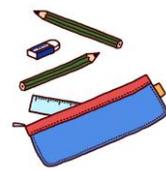
新学期から2週目に入り、本格的に教科の授業が始まりました。
各教科の授業は、全面実施となった新中学校学習指導要領が全面実施されています。21～23年度の3年間の移行期間では、教材や施設設備の整備、新しい教科書の編集・検定・採択などとともに、理科や数学では、新課程の内容を一部前倒しで実施したり授業時数を増加したりという先行実施が行われてきました。

学習指導要領は、全国どこの学校で教育を受けても一定の教育水準を確保するために、学習する各教科等の目標や内容などを文部科学省が定めたものです。今回の改訂は、教育基本法（H.18）や学校教育法（H.19）の改正を受けて、前の学習指導要領の「生きる力」を、これからの知識基盤社会ではますます重要になることから引き続き継承し、知識・技能の習得と思考力・判断力・表現力等の育成のバランスを重視し、道徳教育や体育などの充実により、豊かな心や健やかな体を育成すること、などが基本的な考え方となっています。

各教科等の授業時数は、週時数が1時間増加（28→29時間）し、年間では35時間（980→1015時間）、3年間では105時間の増加となります。具体的には、選択の時間がなくなり総合の時間が減り、国語・社会・数学・理科・英語・保体の週時数が次の通り増加します。

- | | |
|------------------|------------------|
| ・国語：2年生で3→4時間に | ・社会：3年生で2.4→4時間に |
| ・数学：1・3年生で3→4時間に | ・理科：2・3年生で3→4時間に |
| ・英語：各学年で3→4時間に | ・保体：各学年で2.6→3時間に |

（社会と保体で小数の時数があるのは、学期により異なる時数を平均するため）



増加した授業は、つまづきやすい内容の確実な習得を図るための繰り返し学習、観察・実験やレポート作成、論述などの知識・技能を活用する学習などを充実するために行うもの、とされています。

本校では、年間授業時数を確保するため、今年度は、職員会議のある水曜以外は原則6時間授業とし、週30時間の授業を実施します（朝学習10分×5日を1時間とカウントしています）。

各教科の改訂の内容とポイント【5教科】

※ 各教科担当に書いてもらいました。実技4教科の改訂の内容とポイントは次号でお知らせします。

【国語】

今回の改訂では、基礎的・基本的な知識・技能の習得と、それを活用して思考力・判断力・表現力等をはぐくむ、①言語活動、②古典教材の重視、③読書の習慣、④文字文化への関心、を充実させること

が求められています。

【社会】

社会科では、小学校社会科の学習をふまえ、地理・歴史・公民的分野という3分野で学習することは、これまでと変わりありません。ただし、新たに加わる学習内容があります。地理的分野では、世界を6つの地域に、日本を7地方区分して、諸地域学習をおこないます。歴史的分野では、今までの、歴史の大きな流れを理解する学習にプラスして、日本および世界の各時代の特色をとらえる学習が加わります。公民的分野では、社会科のまとめとして、法や政治、経済等に加えて、「よりよい社会」を築いていくための課題を探求し、自分の考えをまとめることが、新たに付け加わっています。本校では、1年生で地理、2年生で歴史、3年生で歴史・公民を学んでいきます。

【数学】

学習する領域が「数と式」「図形」「関数」「資料の活用」の4つに改められました（これまでは「数と式」「図形」「数量関係」の3領域）。「数と式」…第1学年で大小関係を不等式で表すこと、簡単な比例式を解くこと、第3学年で解の公式を用いて2次方程式を解くことが新たに導入されました。「図形」…「円周角と中心角の関係」を第2学年から第3学年に移行し、「円周角の定理の逆」とともに取り扱うことになりました。「相似な図形の面積比と体積比」などの図形の計量が高等学校から中学校に移行しました。「資料の活用」…第1学年でヒストグラム・代表値など、第2学年で確率、第3学年で標本調査などを学習します。全体として、数学的活動が示され、数学を利用する活動等が増えました（数学的活動の考えは別にして、内容的には以前の学習指導要領に戻った内容です）。

【理科】

教科書が以前は1分野上下、2分野上下と分けられていましたが、1年科学、2年科学、3年科学と学年ごとに分けられました。そして、3年生の授業時数が週に1時間増えて4時間になりました。内容は、1年では新たに、孢子で増える植物の学習をします。2年では、電流の正体（電子の移動）を少し深く学習します。また、天気学習では、日本の四季と天気図との関係をより深く学習します。3年では、新たにイオンについて学習します。また、生物領域では遺伝の規則性、地学領域では月や金星の満ち欠けを学習します。

【英語】

英語科では、「文章レベルでの活動を増やし、コミュニケーション能力の育成を図るため」、時間数が3学年とも昨年度までの週3時間から、プラス1時間の週4時間となります。また、「コミュニケーションを充実させるため」に、学ぶ単語の数がこれまでの900語程度から1200語程度に増えています。英語科学習の重要な要素は、「聞くこと」「話すこと」「読むこと」「書くこと」ですが、具体的に、「書くこと」では、自分の気持ちや考えなどを書くこと、「話すこと」では、与えられたテーマについて簡単なスピーチをすることなど、が新たに求められています。教科書の内容は、日本の伝統文化や自然科学を英語で発信できるようなものも追加されています。2013年度から始まる高校の英語の授業は、基本的に英語で行われるようになります。そのため、中学校での英語学習がとても重要になります。



（文責：校長 福井 隆夫）